

令和元年度

高等学校新入生徒の学力に関する研究（英語）

本研究会では、愛知県高等学校英語教育研究会と共同で、毎年県内の参加を希望した高等学校において、その新入生徒を対象に英語学力調査を実施し、結果の集計・分析及び考察を行っている。

この研究は、以下の内容で、本年度分についてまとめたものである。

- (1) 調査の趣旨，調査の実施及び処理，調査結果の概要，分析結果の概要
- (2) 統計資料（設問別正答率）
- (3) 問題別の考察（出題のねらい，問題文，小問別正答率，誤答分析）及び指導上の留意点

＜検索用キーワード＞

英語 中学校 高等学校 学力調査 中高連携 正答率 誤答分析 コミュニケーション能力

研究協議会委員

愛知県立旭丘高等学校教諭	梅村 守
愛知県立松蔭高等学校教諭	石田 秀憲
愛知県立鳴海高等学校教諭	山内 武司
愛知県立高蔵寺高等学校教諭	溝上 真俊
愛知県立東郷高等学校教諭	岡村 有美
愛知県立豊田西高等学校教諭	石川 和代
愛知県立豊田東高等学校教諭	稲垣 宏行
愛知県立安城南高等学校教諭	下條 貴司
愛知県総合教育センター研究指導主事	内山 真一（主務者）

目次

1 調査の趣旨	56
2 調査の実施及び処理	56
3 調査結果の概要	56
4 分析結果の概要	57
5 統計資料	58
6 問題別の考察及び指導上の留意点	59

1 調査の趣旨

愛知県総合教育センターでは、この学力調査を愛知県高等学校英語教育研究会と共同で、昭和29年度以来継続して実施し、令和元年度で66回目となる。対象は、参加を希望する愛知県内の国・公・私立高等学校の新入学生徒である。調査結果の集計、分析及び考察を行い、新入学生徒の英語学力の実態と推移を把握するとともに、主に次の資料を得ることを目的としている。

- (1) 中学校と高等学校の連携資料
- (2) 高等学校第1学年における指導上の参考資料

2 調査の実施及び処理

調査は、愛知県高等学校英語教育研究会が担当し、調査問題及び報告書（調査結果の統計処理及び考察）の作成は、当センターの教育研究調査事業「高等学校新入学生徒の学力に関する研究（英語）」において行った。

(1) 実施時期

平成31年3月下旬から4月上旬までの間に、新入学生徒英語学力調査の参加校において実施した。

(2) 実施状況

	年度 科	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		校数	受験者数	校数	受験者数	校数	受験者数	校数	受験者数
全日制	普通科	104	27,744	103	27,576	99	25,116	92	23,194
	総合学科	6	1,477	6	1,475	7	1,714	9	2,180
	商業科系	7	786	7	789	7	785	5	457
	家庭科系	12	715	14	713	12	705	12	726
	英語科系	4	158	4	161	4	168	4	192
	他の学科	13	710	11	696	9	493	10	678
合計		146	31,590	145	31,410	138	28,981	132	27,427

(注1) 表中の校数は参加した学科・コース数を表す。

(注2) 「他の学科」は、農業科、工業科、福祉科、音楽科等である。

(注3) 「英語科系」は、国際教養科及び英語留学コースである。

(3) 問題作成上の留意事項

本調査は、高等学校での学習内容を理解するために必要とされる基本的事項の習得状況を、学習内容ごとに調査するものである。問題作成に当たっては、次の点に留意した。

ア 中学校学習指導要領に示された内容の範囲を超えないこと。

イ 明確な調査目標をもった問題内容であること。

ウ 言語材料については、現在愛知県内の公立中学校で採用されている教科書（NEW HORIZON English Course 1, 2, 3 東京書籍）の範囲を逸脱しないものとする。

(4) 統計上の調査事項

学力調査参加校には、次の事項について回答を求めた。

ア 平均点 イ 得点分布表 ウ 小問ごとの正答者数（各校人数の10%を抽出）

エ 聞き取りテスト実施状況

3 調査結果の概要

[表1]は、調査対象27,427名の個人得点を10点幅の得点分布に分けて、全体及び学科別の平均点及び標準偏差をまとめたものである。

個人得点の分布（平均点及び標準偏差）

[表 1]

得点域	-90	-80	-70	-60	-50	-40	-30	-20	-10	9-0	合計	平均
全体	5,049	4,625	3,795	3,427	3,088	2,780	2,404	1,683	537	39	27,427	65.5
%	18.4	16.9	13.8	12.5	11.3	10.1	8.8	6.1	2.0	0.1	標準偏差	23.0
普通科	4,835	4,280	3,326	2,881	2,411	2,089	1,721	1,218	403	30	23,194	67.8
%	20.9	18.5	14.3	12.4	10.4	9.0	7.4	5.3	1.7	0.1	標準偏差	22.6
総合学科	48	171	252	304	386	385	349	222	60	3	2,180	52.2
%	2.2	7.8	11.6	13.9	17.7	17.7	16.0	10.2	2.8	0.1	標準偏差	19.5
商業科系	17	37	77	75	98	74	50	20	9	0	457	57.5
%	3.7	8.1	16.8	16.4	21.5	16.2	10.9	4.4	2.0	0.0	標準偏差	18.4
家庭科系	10	32	47	94	96	113	160	128	41	5	726	45.1
%	1.4	4.4	6.5	13.0	13.2	15.6	22.0	17.6	5.6	0.7	標準偏差	19.6
英語科系	115	53	13	8	2	1	0	0	0	0	192	88.5
%	59.9	27.6	6.8	4.2	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	標準偏差	9.2
他の学科	24	52	80	65	95	118	124	95	24	1	678	50.4
%	3.5	7.7	11.8	9.6	14.0	17.4	18.4	14.0	3.5	0.1	標準偏差	21.0

4 分析結果の概要（詳細分析は、6「問題別の考察及び指導上の留意点」に掲載）

ここでは、令和元年度学力調査結果に見られる新入学生徒の学力の傾向を項目ごとにまとめた。

(1) 発音・文強勢（【1】発音・文強勢問題 正答率 62.9%）

会話文において、music の下線部の発音 [z] はよくできているが、ready の [e] と great の [ei] の発音の区別ができていない。また、雨が降りそうな状況で、umbrella に強勢を置いて相手に伝えることが判断できていなかった。

(2) 語彙力（【2】語彙問題 正答率 64.2%）

選択式問題の正答率は70%以上と高く、基本的な語彙は定着していた。一方で、正答率が40%未満であった記述式問題（different, spend）では、つづりの誤りよりも、別の語を解答する誤答や無答が多く、文脈の中で正答の語を用いることが理解できていなかった。

(3) 文法の知識（【3】文法・語法問題 正答率 77.0% 【4】文法・表現問題 正答率 65.6%）

ア 【3】文法・語法問題は、全大問の中で2番目に正答率が高く、特に過去分詞の後置修飾の用法や、関係代名詞 who の用法はよく定着している。

イ 【4】文法・表現問題においては、対話の内容に応じて、時間を表す前置詞 in を適切に用いることができていない。一方で、最上級や助動詞 could を用いた表現はよく定着している。

(4) 口語表現（【5】口語表現問題 正答率 57.7%）

全大問の中で最も正答率が低く、会話の展開を理解した上で、やり取りの流れに応じて適切な表現を用いることができていない。

(5) 表現力（【6】整序・作文問題 正答率 63.7%）

It is ~ for 人 to 不定詞の構文や現在完了（経験）を用いた表現はよく定着している。特に、現在完了（経験）や間接疑問を用いた表現は、過年度と比較して正答率が上がっている。

(6) 読解力（【7】長文読解問題 正答率 58.0%）

全大問中で2番目に正答率が低く、登場人物の発言や行動を整理しながら、物語の展開を正確に捉えることができていない。【5】口語表現問題と同様に、多くの情報を整理しながら、内容を正確に理解する力に課題が見られた。

(7) 聞き取りの力（【8】聞き取り問題 正答率 77.7%）

全大問中で最も正答率が高く、会話の内容から、場面や状況を理解することはおおむねできている。

5 統計資料

(1) 設問別正答率(%) (過去との比較)

〔表2〕は、抽出答案による設問別正答率を年度ごとにまとめたものである。年度により出題内容や難易度が異なるため、単純な数値の比較は困難であるが、本年度は、設問【8】聞き取り問題の正答率が高く、設問【5】口語表現問題の正答率が低いことが分かる。

設問別正答率(%)の推移(過去との比較)

〔表2〕

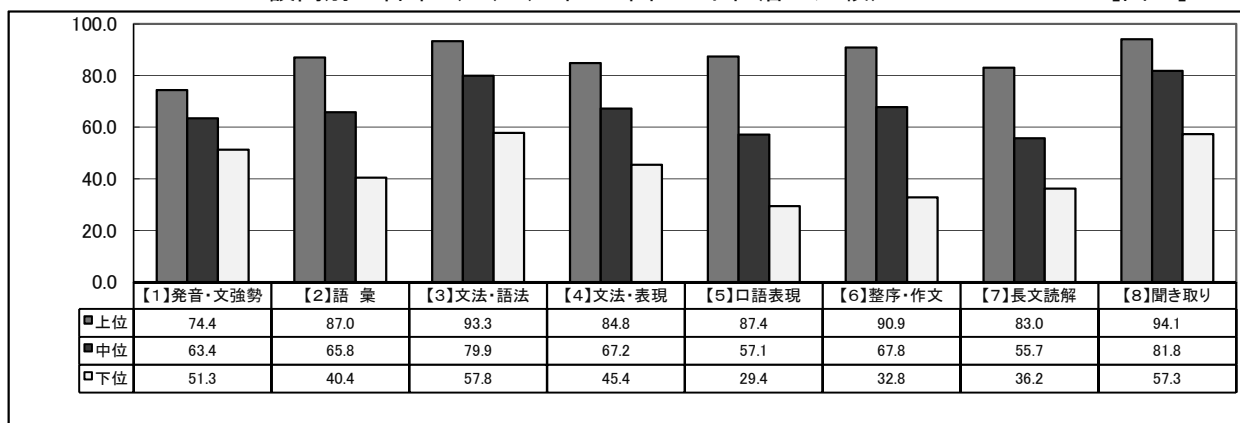
年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
抽出人数	3,284	3,227	3,204	3,265	3,252	3,207	3,177	2,953	2,795
全設問	61.7	61.1	57.0	51.2	65.5	59.9	61.9	62.6	65.5
【1】発音・文強勢	65.4	45.2	66.6	46.9	59.8	64.3	64.5	50.3	62.9
【2】語彙	46.4	50.6	41.2	47.9	49.6	35.5	64.5	62.7	64.2
【3】文法・語法	68.8	79.0	67.0	55.7	63.9	56.0	74.3	76.7	77.0
【4】文法・表現	47.9	53.3	40.3	42.9	71.4	59.8	70.1	74.6	65.6
【5】口語表現	70.7	74.4	73.5	45.8	83.9	65.7	55.2	69.1	57.7
【6】整序・作文	65.7	55.6	55.2	55.2	60.9	66.3	40.0	48.6	63.7
【7】長文読解	61.8	63.7	52.7	51.2	60.5	63.3	61.6	59.6	58.0
【8】聞き取り	60.0	70.7	75.1	59.1	75.5	60.4	72.5	62.9	77.7

(2) 令和元年度設問別正答率(上位・中位・下位層の比較)

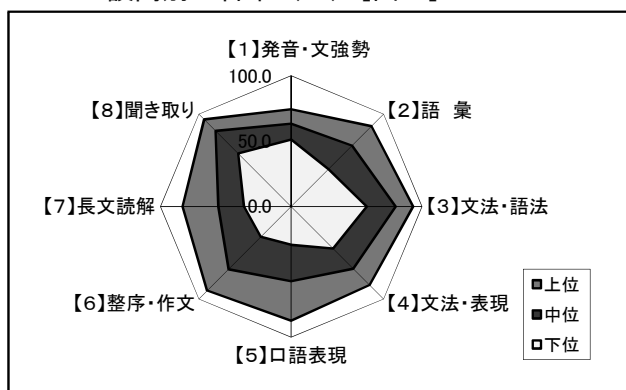
〔図1〕は、受験者10名以上の調査校128校(学科・コース)から抽出した2,795名中の学校平均点上位29校(偏差値55以上)に所属する879名(上位層)、学校平均点中位46校(偏差値45以上55未満)に所属する1,007名(中位層)及び学校平均点下位53校(偏差値45未満)に所属する909名(下位層)の設問別正答率をグラフにしたものである。

設問別正答率(%) (上位・中位・下位層の比較)

〔図1〕



設問別正答率(%)〔図2〕



〔図2〕は〔図1〕をレーダーチャートにしたものである。設問別に各層の正答率を比較すると、

【5】口語表現、【6】整序・作文で各層の差が大きい。特に下位層で、表現力に課題がある傾向が過年度と同様に見られる。一方、【3】文法・語法、【8】聞き取りで各層の正答率が高い。特に、【3】で文法の知識を活用する力が比較的身に付いている傾向は、昨年度と同様である。

6 問題別の考察及び指導上の留意点

(1) 発音・文強勢問題

出題のねらい：母音及び子音の正しい識別及び会話文における強勢の知識を測る。

【1】 次の英文は Ken と Sarah との会話です。(1)~(3)の下線部と発音が同じものを英文中の下線部ア~コから一つずつ選び、記号で答えなさい。また、波線部(4)、(5)において、下線部 a ~ d のうち最も強く読まれるものを一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) ready (2) town (3) music

Ken : Sarah, do you have any plans for the weekend?
Sarah : Well, on Saturday, though my father will be busy, my mother and I are going to hold a birthday party for my brother, Joe, and invite his friends.
Ken : That sounds fun. I'm sure you have bought something for Joe.
Sarah : Yes, (4) I bought a basketball for him. When we watched a basketball game at a gym last month, he was really excited.
Ken : That's great! I'm sure he'll be glad.
Sarah : I hope so. How about you, Ken?
Ken : On Sunday, I am going to visit Aichi Zoo with my friend, Shota.
Sarah : (5) You should carry an umbrella with you because it will rain.

- (4) I bought a basketball for him
a b c d
(5) You should carry an umbrella with you
a b c d

配点 10点 (各2点)

正解 (1) エ (2) オ (3) ウ (4) c (5) c

<抽出答案における【1】小問別正答率(%)>

学科・人数 小問	全体 2,795	普通科 2,357	総合学科 220	商業科系 47	家庭科系 79	英語科系 22	他の学科 70
(1) <u>friends</u>	62.9	44.3	46.0	33.2	25.5	36.7	38.6
(2) <u>sounds</u>		73.2	74.1	68.6	70.2	55.7	72.9
(3) <u>busy</u>		86.9	87.9	80.0	87.2	81.0	95.5
(4) <u>basketball</u>		71.8	73.1	63.2	66.0	58.2	90.9
(5) <u>umbrella</u>		38.3	38.9	35.0	38.3	29.1	54.5

本年度は、小問(1)、(2)、(3)を発音に関する問題、(4)、(5)を文における強勢に関する問題とした。本問における調査校全体の抽出答案による正答率(以下、「調査校全体の正答率」という)は62.9%であった。

平均点順位が中位にある全日制課程普通科・総合学科の生徒100名の答案(以下、「分析答案」という)を抽出して、小問別に誤答分析を試みた。したがって、分析答案による誤答数は調査校全体の抽出答案による誤答率とは異なる。なお、誤答分析に用いた分析答案は、設問【2】以降も同様の方法で抽出した。

<過年度類題正答率(%)>

小問	令和元年度正答率	過年度正答率(出題年度)
(1) <u>ready</u> [e]	44.3	64.1(29年度) <u>member</u> , 61.1(25年度) <u>heavy</u>
(3) <u>music</u> [z]	86.9	47.1(28年度) <u>visit</u> , 32.2(22年度) <u>size</u>

<分析答案による誤答数>

小問 (発音)	誤答数	ア [i:]	イ [ou]	ウ [z]	エ [e]	オ [au]	カ [ʌ]	キ [ɔ:]	ク [θ]	ケ [ei]	コ [j]	無答
(1) <u>ready</u> [e]	64	4	0	0	正答	0	0	0	0	60	0	0
(2) <u>town</u> [au]	24	0	8	0	0	正答	4	12	0	0	0	0
(3) <u>music</u> [z]	8	0	0	正答	0	0	0	1	1	1	5	0
小問 (文における強勢)	誤答数	a	b	c	d	無答						
(4) 最も伝えたい情報	24	3	15	正答	6	0						
(5) 最も伝えたい情報	72	9	56	正答	7	0						

<考察>

小問(1)は、[e] の発音を問う問題で、調査校全体の正答率は44.3%と低かった。誤答64例のうち60例が **ケ great** に集中しており、**ready** の [e] と **great** の [ei] の発音の違いが区別されていないと考えられる。

小問(2)は、[au] の発音を問う問題で、調査校全体の正答率は73.2%とよくできていた。誤答24例のうち12例が **キ bought**、8例が **イ though** であり、[au] や [ɔ:], [ou] といった母音の発音が正確に区別されていないと考えられる。

小問(3)は、[z] の発音を問う問題で、調査校全体の正答率は86.9%と本問中最も高かった。見出し語 **music** と、**ウ busy** の下線部の発音 [z] はよく理解されている。

小問(4)は、「Joe の誕生日プレゼントとして君は何かを買ったことだろうね」という **Ken** の発話に対して返答する際に、どの語に強勢を置くのかを問う問題である。調査校全体の正答率は71.8%とよくできていた。**Ken** と **Sarah** の発話を対比させ、最も伝えたい情報が何であるかを判断できたと考えられる。

小問(5)は、「日曜日に動物園に行く」と言った **Ken** に対し、**Sarah** が「雨が降るだろうから傘を持って行くべきですよ」と促す場面である。調査校全体の正答率は38.3%と本問中最も低かった。誤答72例のうち56例が **b) carry** であった。これは、最も伝えたい情報が **umbrella** であることを文脈から判断できなかつたためと考えられる。

<指導上の留意点>

<問題点>

小問(5)に見られるように、会話の内容に応じて、適切に強勢を置いて伝えることができない。

<具体的な指導例>

(1) 文脈に応じて強勢の置かれる語が異なる文を含む会話文をペアで読ませる。

【例】 I asked you to buy me a yellow shirt. の1文をさまざまな文脈で用いた例

(下線部は強勢を置いて発話させたい箇所)

- ① Mom : I'm home. Lily, I didn't have time to go shopping today. But dad is going to get one.
Lily : Oh, no. I asked you to buy me a yellow shirt. His taste in clothes is so bad.
- ② Mom : I'm home. Hey, Lily, here's your shirt.
Lily : Thanks. (Open the bag.) Mom! I asked you to buy me a yellow shirt! Why did you get a red one?
- ③ Lily : (On the phone) Hello?

Mom : Hi, I forgot to ask your shoe size.
 Lily : What are you talking about?
 Mom : How can I get your new shoes without knowing that?
 Lily : Oh, come on, Mom. I asked you to buy me a yellow shirt. I don't need shoes.
 (2) 別の文 (“Are you going to see a movie tonight?” など) を用いて, 上記のように強勢の置かれる箇所が変わるように, 生徒同士でスキットを考え, 発表させる。

(2) 語彙問題

出題のねらい：基本的な語彙力が身に付いているかを測る。

【2】 次の(1)~(5)の文中の()内に入る最も適当な語をア~エから選び、記号で答えなさい。また、(6)~(10)の文中の()内に、与えられた文字で始まる最も適当な語を一つ書きなさい。

- (1) I'm a big () of the Yankees. I often go to the stadium to see their games.
 ア daughter イ fan ウ parent エ patient
- (2) *Sushi* and *tempura* are really popular in foreign countries. I'm proud of Japanese food ().
 ア activity イ ceremony ウ condition エ culture
- (3) I enjoyed the school trip very much. I'll never () it.
 ア forget イ mind ウ remember エ see
- (4) A : Is he studying in his room now?
 B : No, he is () playing baseball in Aichi Park.
 ア often イ someday ウ still エ yet
- (5) A : What's wrong with Kota and Ben? They never talked to each other today.
 B : Kota got () because Ben said something bad to him.
 ア angry イ beautiful ウ important エ similar
- (6) I love curry and rice. It is one of my (f) dishes.
- (7) I want to use English in the (f). My dream is to work abroad.
- (8) A : What do you think about his opinion?
 B : I understand it, but I have a (d) opinion from his.
- (9) A : What is that big building next to the school, Dad?
 B : It is a (l). You can borrow books and study there.
- (10) A : How did you (s) your spring vacation?
 B : I went to Yakushima Island.

配点：10点(各1点)

正解 (1) イ (2) エ (3) ア (4) ウ (5) ア
 (6) favorite (7) future (8) different (9) library (10) spend

<抽出答案における【2】小問別正答率(%)>

学科・人数 小問	全体 2,795	普通科 2,357	総合学科 220	商業科系 47	家庭科系 79	英語科系 22	他の学科 70
(1) fan	88.3	89.7	79.5	89.4	77.2	95.5	78.6
(2) culture	90.4	91.3	85.9	93.6	77.2	100.0	82.9
(3) forget	82.1	83.3	78.6	80.9	59.5	100.0	74.3
(4) still	71.4	73.8	55.5	68.1	44.3	95.5	67.1
(5) angry	79.6	82.4	67.7	74.5	48.1	81.8	60.0
(6) favorite	59.7	62.7	44.5	51.1	31.6	86.4	34.3
(7) future	56.4	58.7	42.7	55.3	31.6	77.3	41.4
(8) different	34.6	37.8	15.5	14.9	7.6	68.2	18.6
(9) library	50.3	53.9	27.7	38.3	21.5	90.9	27.1
(10) spend	29.1	32.0	11.4	17.0	7.6	45.5	11.4

調査校全体の正答率は64.2%であった。

<過年度類題正答率(%)>

小問	令和元年度正答率	過年度正答率(出題年度)
(3) forget	82.1	44.8(28年度), 50.4(27年度), 53.8(24年度)
(6) favorite	59.7	58.0(28年度), 67.0(26年度), 66.8(22年度)
(7) future	56.4	55.8(29年度), 57.0(27年度)
(8) different	34.6	65.1(30年度), 30.2(29年度), 38.5(28年度)
(9) library	50.3	55.0(30年度), 50.1(28年度), 51.1(22年度)
(10) spend	29.1	27.6(28年度), 36.3(27年度)

<分析答案による誤答数と主な誤答例>

小問	誤答数	ア	イ	ウ	エ	無答
(1) fan	1	1	正答	0	0	0
(2) culture	2	1	1	0	正答	0
(3) forget	16	正答	4	5	7	0
(4) still	24	19	2	正答	1	2
(5) angry	19	正答	1	9	9	0

小問	誤答数	つづりの誤り(数)	その他の誤り(数)	無答
(6) favorite	32	13 favorit(5), favolite(2), favalit(1), favarite(1)等	18 family(5), food(4), famous(2), for(2)等	1
(7) future	39	4 futuer(1), fucher(1), futare(1), futer(1)	30 foreign(11), food(1), forest(1), family(1)等	5
(8) different	81	4 diffarent(1), diffeleent(1), diferent(1), diffrent(1)	47 disagree(12), difference(4), don't(4), difficult(3)等	30
(9) library	57	14 libraly(4), librally(3), liblary(1), liblally(1)等	24 late(3), large(2), long(2), largest(1)等	19
(10) spend	84	0	69 stay(24), seen(10), see(6)等	15

<考察>

小問(1)から(5)までは文中の適語補充の選択式問題、(6)から(10)までは会話文中の適語補充問題とした。

小問(1) fan の調査校全体の正答率は88.3%と高かった。文脈から適切に判断して fan という語を選択できたと考えられる。

小問(2) culture の調査校全体の正答率は90.4%と本問中最も高かった。culture という語の意味はよく理解されている。

小問(3) forget の調査校全体の正答率は82.1%と高かった。NEW HORIZON 3 Presentation 2 で学習した I'll never forget という表現はよく定着していると言える。

小問(4) still の調査校全体の正答率は71.4%とよくできていた。誤答24例のうち19例が ア often であった。これは still と頻度を表す often の区別ができていないためと考えられる。

小問(5) angry の調査校全体の正答率は79.6%とよくできていた。文脈から適切に判断して, angry という語を選択できたと考えられる。

小問(6) favorite の調査校全体の正答率は59.7%であった。誤答32例のうち13例が「つづりの誤り」であった。文脈から favorite という語を思い浮かべることはできたものの、正確につづることができなかつたようである。




小問(7) future の調査校全体の正答率は56.4%であった。誤答39例のうち、「その他の誤り」が30例、「無答」が5例あり、dream という語から in the future という表現が思い付かなかつたと考えられる。

小問(8) different の調査校全体の正答率は34.6%と低かつた。誤答81例のうち、「その他の誤り」が47例、「無答」が30例あつた。文脈から適切な語が思い付かなかつたと考えられる。

小問(9) library の調査校全体の正答率は50.3%であつた。borrow books という表現から library という語を思い浮かべるができなかつたようである。

小問(10) spend の調査校全体の正答率は29.1%と本問中最も低かつた。誤答84例のうち、「その他の誤り」が69例、そのうち24例が stay であり、stay と spend の使い方が正しく理解されていないようである。

<指導上の留意点>

<p><問題点></p> <p>小問(10)に見られるように、場面や状況に応じて適切な表現を用いることができない。</p>					
<p><具体的な指導例></p> <p>(1) 混同しやすい語を用いて英文を完成させる。</p> <p>【例】① You cannot (have / stay / spend) in the library after 5:00. ② We (had / stayed / spent) three days in Paris. ③ I like to (listen to / hear) music on my smartphone. ④ Could you (teach / tell / show) me the truth? ⑤ The woman (taught / told / showed) us the way to the art museum with this map.</p> <p>(2) どのようなイメージでそれぞれの語が使い分けられているかをペアで考え、言葉や図、絵などを使ってまとめさせる。</p> <p>【例】</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">「過ごす」</td> <td>1. have → time と一緒に使う。</td> </tr> <tr> <td>2. stay → その場所に留まる、その状態が続くイメージ。</td> </tr> <tr> <td>3. spend → 時間やある一定の期間、お金などを使う、費やす。</td> </tr> </table>		「過ごす」	1. have → time と一緒に使う。	2. stay → その場所に留まる、その状態が続くイメージ。	3. spend → 時間やある一定の期間、お金などを使う、費やす。
「過ごす」	1. have → time と一緒に使う。				
	2. stay → その場所に留まる、その状態が続くイメージ。				
	3. spend → 時間やある一定の期間、お金などを使う、費やす。				
 <p><u>listen</u></p> <p>集中(意識)して情報を耳に入れる。 聞く行為を重視。</p>	 <p><u>hear</u></p> <p>自然に(音が)耳に入る。 聞いた結果を重視。</p>				
 <p><u>teach</u></p> <p>学問や技術など、難しいことを理解させ、教える。</p>	 <p><u>tell</u></p> <p>情報を伝え、教える。</p>	 <p><u>show</u></p> <p>情報を図示し、見せながら教える。</p>			

(3) 身に付けさせたい語句を用いながら、ペアで会話をさせる。

【例】（下線部は発音を身に付けさせたい箇所）

- ① (a) What do you like to do when you have time?
 (b) I like to () when I have time.
- ② (a) Where did you go on a school trip?
 (b) We went to () and stayed there for two days.
- ③ (a) How did you spend your summer vacation last year?
 (b) I ().

(3) 文法・語法問題

出題のねらい：機能語の働きと基本的な文法事項の理解度を測る。

【3】 次の(1)~(5)がそれぞれ正しい文になるように、()内に入る最も適当な語(句)をア~エから選び、記号で答えなさい。

- (1) I think cars () in the United States are very cool.
 ア made イ make ウ making エ to make
- (2) She () the book three days ago.
 ア has read イ is reading ウ read エ reads
- (3) There () old castles here before.
 ア built イ did ウ had エ were
- (4) Carlo is a student () speaks Portuguese very well.
 ア which イ which he ウ who エ who he
- (5) Electronic dictionaries are very useful, () we can't use them without batteries.
 ア because イ but ウ for エ so

配点：10点（各2点）

正解 (1) ア (2) ウ (3) エ (4) ウ (5) イ

<抽出答案における【3】小問別正答率（％）>

学科・人数 小問	全体 2,795	普通科 2,357	総合学科 220	商業科系 47	家庭科系 79	英語科系 22	他の学科 70
(1) made	77.0	85.1	86.5	80.0	76.6	62.0	80.0
(2) read		63.7	66.6	47.7	68.1	35.4	41.4
(3) were		78.9	81.4	64.5	72.3	58.2	64.3
(4) who		81.5	83.5	70.9	78.7	53.2	77.1
(5) but		75.7	77.6	65.5	74.5	55.7	61.4

調査校全体の正答率は77.0%であった。

<過年度類題正答率（％）>

小問	令和元年度正答率	過年度正答率（出題年度）
(1) 過去分詞の用法（後置修飾）	85.1	62.7（30年度）、33.2（28年度）
(2) 時制（過去形）	63.7	60.1（27年度）
(4) 関係代名詞 who の用法	81.5	79.2（27年度）

<分析答案による誤答数>

小問	誤答数	ア	イ	ウ	エ	無答
(1) made	8	正答	1	1	5	1
(2) read	24	15	7	正答	2	0
(3) were	11	6	0	4	正答	1
(4) who	8	1	0	正答	7	0
(5) but	21	13	正答	1	7	0

<考察>

小問(1)は、後置修飾の過去分詞 **made** を選択させる問題である。調査校全体の正答率は85.1%と本問中最も高かった。NEW HORIZON 3 Unit 5 で学習した表現が定着していると言える。

小問(2)は、動詞 **read** を時制に合わせて適切に活用できるかを問う問題である。調査校全体の正答率は63.7%と本問中最も低かった。誤答24例のうち、**ア has read** が半数を超える15例あった。過去を表す表現 **three days ago** から、時制を適切に判断することが難しかったようである。

小問(3)は、**There is / are** 構文の用法を問う問題である。調査校全体の正答率は78.9%とよくできていた。NEW HORIZON 2 Unit 6 において基本文として紹介されており、よく定着しているようである。

小問(4)は、関係代名詞 **who** を選ぶ問題である。調査校全体の正答率は81.5%と高かった。関係代名詞 **who** の用法は十分理解されているようである。

小問(5)は、文脈に合う適切な接続詞 **but** を選ぶ問題である。調査校全体の正答率は75.7%であった。誤答21例のうち、半数以上の13例が **ア because** を選んでいた。これは、文脈に応じて適切な接続詞を選ぶことができなかつたためと考えられる。

<指導上の留意点>

<問題点>

小問(2)に見られるように、場面や状況に応じて現在完了と過去時制を適切に用いることができない。

<具体的な指導例>

(1) ペアをつくり、A・Bの両面印刷のカードを1枚ずつ配る。

A : for ten years / since 2008 / yesterday / three days ago / last week / in 2018 など

B : I (play) the piano / I (study) English / I (live) in Nara / We (know) each other など

(2) 一人がAの面を、もう一人がBの面を見せて英文を作らせる。裏面を見せて、もう1文作らせる。教師が必要に応じて支援する。

(3) 別のペアをつくり、繰り返させる。

(4) 新しいカードを配る。Bには、過去時制でAとつなげるべき表現が書かれている。

B : I (buy) the bag / I (get) the letter from my friend / I (meet) him near the station など

(5) ペアで英文を作らせる。

(6) ある程度慣れてきたら、Aの面だけを見せて、適切な英文を考えて完成させる。

(4) 文法・表現問題

出題のねらい：基本的な文法事項の運用能力を測る。

【4】 次の(1)~(5)の会話が成立するように、()内に入る最も適当な語(句)をア~エから選び、記号で答えなさい。

- (1) A: The bus hasn't arrived yet. I'll be late for the meeting.
B: Don't worry. The bus will be here () a few minutes.
ア at イ for ウ in エ on
- (2) A: I like this jacket, but it is too big. Do you have a smaller one?
B: I'm sorry. This jacket is () in this shop.
ア bigger イ smaller ウ the biggest エ the smallest
- (3) A: Please show me () buy the concert ticket.
B: Go this way. You can see the ticket center over there.
ア what to イ when to ウ where to エ which to
- (4) A: This is your coffee.
B: Thank you. () pass me the sugar, please?
ア Can I イ Could you ウ How about エ Shall I
- (5) A: What is this flower () in Japanese?
B: We call it "Himawari."
ア called イ calling ウ calls エ to call

配点：10点（各2点） 正解 (1) ウ (2) エ (3) ウ (4) イ (5) ア

<抽出答案における【4】小問別正答率(%)>

学科・人数	全体	普通科	総合学科	商業科系	家庭科系	英語科系	他の学科
小問	2,795	2,357	220	47	79	22	70
(1) in	65.6	31.5	31.9	26.4	27.7	29.1	31.4
(2) the smallest		78.2	80.5	62.7	74.5	59.5	68.6
(3) where to		72.8	75.4	58.2	68.1	46.8	57.1
(4) Could you		77.9	79.8	65.9	80.9	58.2	70.0
(5) called		67.8	70.8	52.7	42.6	45.6	52.9

調査校全体の正答率は65.6%であった。

<過年度類題正答率(%)>

小問	令和元年度正答率	過年度正答率(出題年度)
(3) 疑問詞 + to 不定詞	72.8	79.7(29年度), 76.2(28年度), 36.3(26年度)
(5) 受動態の用法	67.8	81.5(30年度), 55.6(24年度), 23.6(23年度)

<分析答案による誤答数>

小問	誤答数	ア	イ	ウ	エ	無答
(1) in	78	30	40	正答	8	0
(2) the smallest	8	4	1	3	正答	0
(3) where to	19	12	2	正答	5	0
(4) Could you	18	3	正答	2	13	0
(5) called	22	正答	10	5	7	0

<考察>

小問(1)は、時間の経過を表す前置詞 in に関する問題である。調査校全体の正答率は31.5%と本問中最も低かった。誤答78例のうち30例が ア at を、40例が イ for を選んでおり、時間を表す前置詞の用法の混同が見られた。

小問(2)は、最上級の表現 the smallest に関する問題である。調査校全体の正答率は78.2%と本問

中最高かった。会話の内容に応じて、適切に最上級の表現を用いることができていた。

小問(3)は、疑問詞 + to 不定詞の表現に関する問題である。調査校全体の正答率は72.8%とよくできていた。疑問詞 + to 不定詞の表現の使い分けは、おおむね理解されているようである。

小問(4)は、丁寧な依頼を表す Could you...? に関する問題である。調査校全体の正答率は77.9%とよくできていた。この表現は定着していると考えられる。

小問(5)は、受動態の用法を問う問題である。調査校全体の正答率は67.8%であった。誤答は分散しており、疑問文における受動態の用法は十分に定着していないと考えられる。

<指導上の留意点>

<問題点>

小問(1)のように、時間を表す前置詞の用法が定着していない。

<具体的な指導例>

(1) 時間を表す前置詞の基本的な用法を説明する。

【例】in は時間的な範囲，所要時間を表す。

for は時間の幅，期間を表す。

(2) 教師が誤った前置詞を含む英文を読み，生徒に誤りを訂正させる。

Teacher : I have lived in Nagoya in three years. (誤)

Student : I have lived in Nagoya for three years. (正)

Teacher : I'll be back for ten minutes. (誤)

Student : I'll be back in ten minutes. (正)

(3) 同じ活動を，生徒同士にペアで行わせる。繰り返し行わせることで定着を図る。

(5) 口語表現問題

出題のねらい：基本的な口語表現の理解度を測る。

【5】 次の英文は Anna と Mom との会話です。(1)～(5)に入る最も適当な表現をア～コから選び、記号で答えなさい。ただし、各表現は一度しか使えません。

Anna : Mom, do we have any carrots?

Mom : Yes, I think we have some in the kitchen.

Anna : (1)

Mom : What happened? When you come home from school, you usually ask me for cookies, not vegetables.

Anna : Our class at school has a pet rabbit, Lily. We all have to take care of her.

Mom : So do you need vegetables tomorrow? (2)

Anna : In the morning and after school. Well, our teacher said everyone should bring some vegetables tomorrow.

Mom : Everyone? Why?

Anna : This morning, when my friend Jason gave food to her, he didn't close the door of the rabbit house.

Mom : (3)

Anna : I don't know, but maybe he wasn't careful. When we went there at lunchtime, she wasn't there.

Mom : That's too bad.

Anna : We looked for her for half an hour, but no one could find her. (4)

Mom : So you want to take some food to school tomorrow to catch her. (5)

Anna : Thank you.

ア How about other vegetables?

ウ How often do you give food to her?

オ I hope you will find her.

キ We believe she may be in our school.

ケ What do you call the rabbit?

イ How many rabbits do you have?

エ I don't think you need some vegetables.

カ I think our teacher has already found her.

ク What did he give to the rabbit?

コ Why did he forget to close the door?

配点：10点（各2点） 正解（1）ア（2）ウ（3）コ（4）キ（5）オ

<抽出答案における【5】小問別正答率（%）>

学科・人数 小問	全 体 2,795	普 通 科 2,357	総合学科 220	商業科系 47	家庭科系 79	英語科系 22	他の学科 70	
(1) How about other vegetables?	57.7	53.6	56.8	37.3	38.3	24.1	86.4	30.0
(2) How often do you give food to her?		52.2	55.4	39.1	44.7	13.9	68.2	28.6
(3) Why did he forget to close the door?		68.2	70.6	59.5	63.8	38.0	86.4	45.7
(4) We believe she may be in our school.		49.1	52.4	30.0	42.6	16.5	81.8	28.6
(5) I hope you will find her.		65.3	68.6	44.5	72.3	32.9	95.5	40.0

調査校全体の正答率は57.7%であった。

<分析答案による誤答数>

小問	誤答数	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	無答
(1) How about other vegetables?	52	正答	3	4	22	7	6	4	4	1	1	0
(2) How often do you give food to her?	50	7	3	正答	22	0	4	2	9	2	0	1
(3) Why did he forget to close the door?	25	1	6	4	0	0	2	2	6	3	正答	1
(4) We believe she may be in our school.	58	0	1	8	5	15	22	正答	3	1	1	2
(5) I hope you will find her.	35	2	2	1	2	正答	11	14	1	1	1	0

<考察>

小問(1)は、Anna が母親にウサギのエサの野菜があるかどうかを尋ねる場面である。調査校全体の正答率は53.6%であった。誤答52例のうち22例が **エ** I don't think you need some vegetables. であった。これは、野菜が話題になっていることは理解できたものの、会話の流れを正しく理解することができなかったためと考えられる。

小問(2)は、ウサギにいつエサを与えるのかを、母親が Anna に尋ねる場面である。調査校全体の正答率は52.2%であった。誤答50例のうち22例が **エ** I don't think you need some vegetables. であった。空所に続く Anna の発言 In the morning and after school. から、頻度を尋ねる How often ...? の表現を導き出せなかったようである。

小問(3)は、Jason がなぜウサギ小屋の鍵をかけ忘れてしまったのかを、母親が Anna に尋ねる場面である。調査校全体の正答率は68.2%で、本問中最も高かった。会話の前後のつながりを正しく理解できたようである。

小問(4)は、Anna が逃げたウサギについて話している場面である。調査校全体の正答率は49.1%で、本問中最も低かった。誤答58例のうち22例が **カ** I think our teacher has already found her. であった。これは、前後の会話の流れから、ウサギがまだ見つかっていないということを正しく理解できなかったためと考えられる。

小問(5)は、Anna たちがウサギを見つけることを母親が期待する場面である。調査校全体の正答率

は 65.3%であり、本問中 2 番目に高かった。会話の前後のつながりを正しく理解できたようである。
 <指導上の留意点>

<問題点>

小問(4)に見られるように、会話の流れに応じて適切な表現を用いることができない。

<具体的な指導例>

(1) 会話の後半部分を示し、その前にどのような表現が入るのか、選択肢を与えて選ばせる。

【例】

A: _____ (下の選択肢から選ばせる)

B: I hope you will find it. …助動詞を用いた文

A: Thank you. I will check my classroom again.

【選択肢】

I lost my smartphone yesterday. / I missed the last train. / I saw the movie last night. /

I had lunch with my friend. / I lost my glasses in the library.

(2) 次に、会話の最後の部分も自分で考えさせる。

【例】

A: _____ (下の選択肢から選ばせる)

B: I think she may be in your school. …助動詞を用いた文

A: _____ (自然な表現を考えさせる)

【選択肢】

I saw her running in a hurry. / Our rabbit ran away yesterday. / We keep a rabbit at school. / I give food to a rabbit every day. / We forgot to take care of the rabbit.

(3) 最後に、会話の最初と最後の部分を自分で考えさせる。

【例】

A: _____ (自然な表現を考えさせる)

B: You should be careful. …助動詞を用いた文

A: _____ (自然な表現を考えさせる)

(6) 整序・作文問題

出題のねらい：単語を並べ替えて正しい英文を構成する力、基本的な英語表現能力を測る。

【6】 次の会話が成立するように、(1)～(3)は [] 内の語を全部用いて下線部の英文を完成させなさい。また、(4)、(5)は () 内に 3 語以上の英語を入れて下線部の英文を完成させなさい。ただし、【 】内の語をこの順序で使いなさい。

(1) A: A big earthquake may happen at any time.

B: That's true. So it's [for / necessary / prepare / to / us] for earthquakes.

(2) A: Do you [can / know / see / we / where] pandas?

B: Look at this map. They are near the west gate.

(3) A: I am looking for Mr. Tanaka. Where is he?

B: [by / is / standing / the door / the man] Mr. Tanaka.

(4) A: I don't know how to use this computer. () it? [ever, used]

B: Yes. I often use it, so I can help you.

(5) A: I'm very hungry. () now? [anything, eat]

B: Yes, I have some apples and bananas. Which would you like better?

配点：15点（各3点 部分点なし）

正答 (1) necessary for us to prepare (2) know where we can see
 (3) The man standing by the door is (4) Have you ever used
 (5) Do you have anything to eat

<抽出答案における【6】小問別正答率（％）>

学科・人数 小問	全 体 2,795	普 通 科 2,357	総合学科 220	商業科系 47	家庭科系 79	英語科系 22	他の学科 70	
(1)	63.7	72.8	75.1	62.3	76.6	43.0	90.9	55.7
(2)		70.6	72.2	65.0	76.6	36.7	86.4	61.4
(3)		56.2	60.0	33.6	36.2	29.1	90.9	31.4
(4)		72.3	74.7	59.5	76.6	45.6	95.5	52.9
(5)		46.6	50.5	23.6	27.7	13.9	81.8	27.1

小問(1)から(3)までは、会話を完成させる整序問題、小問(4)、(5)は、会話が成立するように指定された語を用いて表現させる形式とした。なお、いずれの小問にも日本語は示さないこととした。調査校全体の正答率は63.7%であった。

<過年度類題正答率（％）>

小問	令和元年度正答率	過年度正答率（出題年度）
(1) 形式主語構文	72.8	79.5（29年度） It is important for you to eat breakfast. 63.8（28年度） It is difficult for me to explain it. 71.8（27年度） It is important for you to have breakfast every day.
(2) 間接疑問	70.6	45.4（30年度） Do you know where Mike is from? 31.5（29年度） Do you know why he says so? 63.2（28年度） Do you know who she is? 37.5（27年度） Do you know where my notebook is? 64.5（25年度） I don't know why he said so.
(3) 現在分詞	56.2	60.1（27年度） The girl playing tennis over there is Miki. 53.9（25年度） The man standing over there is our teacher.
(4) 現在完了 （経験）	72.3	54.6（27年度） How long have you lived there?（継続） 26.6（26年度） I have never been there.（経験） 35.2（25年度） I have been to seven countries.（経験） 35.4（24年度） Have you ever read them?（経験）
(5) 不定詞の形容 詞的用法	46.6	63.4（30年度） Will you give me something to drink? 56.9（29年度） Would you like something to drink? 70.7（26年度） I have many friends to help me.

<分析答案による誤答数>

小問	分析答案における誤答数
(1)	17
(2)	27
(3)	41
(4)	16
(5)	63

<考察>

小問(1)は、It is ～ for 人 to 不定詞の構文を用いた表現ができるかを確認する問題である。調査

校全体の正答率は72.8%と本問中最も高かった。

誤答例	① So it's necessary to prepare for us for earthquakes.	3例
	② So it's prepare for necessary to us for earthquakes.	2例
	③ So it's for us to necessary prepare for earthquakes.	2例

この構文は、定着しているようである。

小問(2)は、間接疑問を用いた表現ができるかを確かめる問題である。調査校全体の正答率は70.6%とよくできていた。

誤答例	① Do you know where can we see pandas?	15例
	② Do you can see where we know pandas?	2例
	③ Do you know we can see where pandas?	2例

誤答27例のうち15例が Do you know where can we see pandas? と解答しており、これは間接疑問の用法を正しく理解できていないためと考えられる。

小問(3)は、現在分詞の後置修飾を用いた表現ができるかを確かめる問題である。調査校全体の正答率は56.2%であった。

誤答例	① The man is standing by the door Mr. Tanaka.	23例
	② The man is standing the door by Mr. Tanaka.	8例

誤答41例のうち誤答例①と②を含む32例は、The man is standing ... と書き出しており、現在分詞を正しい位置で用いることができなかった。

小問(4)は、現在完了を用いて経験を尋ねる表現ができるかを確かめる問題である。調査校全体の正答率は72.3%とよくできていた。この用法は定着しているようである。

小問(5)は、不定詞の形容詞的用法を用いた表現ができるかを確かめる問題である。調査校全体の正答率は46.6%と本問中最も低かった。

誤答例	① Do you have anything eat now?	10例
	② Have you anything eat now?	5例
	③ Have you anything to eat now?	5例

誤答63例のうち、誤答例①と②を含む28例は anything eat と表現しており、不定詞の形容詞的用法は定着していないようである。

<指導上の留意点>

<p><問題点></p> <p>小問(5)のように、不定詞の形容詞的用法を用いた表現が定着していない。</p>									
<p><具体的な指導例></p> <p>(1) 不定詞の形容詞的用法について簡潔に説明する。</p> <p>(2) 以下のようにさまざまなものが書かれたシートを数種類用意し、生徒に配付する。</p> <p>【例】</p> <table><tr><td>Student A</td><td>Student B</td></tr><tr><td><table border="1"><tr><td>chocolate / a comic book</td></tr><tr><td>a pen / juice / ice cream</td></tr></table></td><td><table border="1"><tr><td>tea / a magazine / a towel</td></tr><tr><td>an apple / a coat / cookies</td></tr></table></td></tr></table>		Student A	Student B	<table border="1"><tr><td>chocolate / a comic book</td></tr><tr><td>a pen / juice / ice cream</td></tr></table>	chocolate / a comic book	a pen / juice / ice cream	<table border="1"><tr><td>tea / a magazine / a towel</td></tr><tr><td>an apple / a coat / cookies</td></tr></table>	tea / a magazine / a towel	an apple / a coat / cookies
Student A	Student B								
<table border="1"><tr><td>chocolate / a comic book</td></tr><tr><td>a pen / juice / ice cream</td></tr></table>	chocolate / a comic book	a pen / juice / ice cream	<table border="1"><tr><td>tea / a magazine / a towel</td></tr><tr><td>an apple / a coat / cookies</td></tr></table>	tea / a magazine / a towel	an apple / a coat / cookies				
chocolate / a comic book									
a pen / juice / ice cream									
tea / a magazine / a towel									
an apple / a coat / cookies									

(3) ジャンケンで勝った方から交互に、相手に Do you have anything to ...? と尋ねさせる。聞かれた生徒は、自分の持っているシートに該当するものがあるかについて英語で返答する。

【会話例】

A : Do you have anything to drink?

B : Yes, I have tea. Do you have anything cold to eat?

A : Yes, I have ice cream. Do you have anything to write with?

B : Sorry, I don't have anything to write with.

(7) 長文読解問題

出題のねらい：比較的長い英文を読み取る力を測る。

【7】 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

An old woman was enjoying Christmas shopping in a toy shop with her husband. They stopped in front of some video games and (1)she picked up one of them. The video game was very popular among children, but expensive. The woman said to her husband, "He will love it. We should buy it." "(2)I agree," said her husband. Their daughter, Ellen, lived with her child, Nick, far away from them. They were coming to visit them next week.

When she was holding the video game, a small boy came near her. He was looking for a Christmas toy with his father. She could see that his sneakers were dirty and his jacket was old and too small. He picked up a toy robot. He asked his father, "Can I have this?" His father said, "No. It's too expensive. I don't have enough money." (3)The boy put down the toy robot and looked very sad.

The woman was watching them and heard their conversation. Then she put the video game she was holding back and said something to her husband. When he listened to her words, he replied, "That's a good idea." The woman took the toy robot and walked to the checkout counter with her husband. She gave the cashier money for it and told her plan. The cashier smiled and said, "(4) He will love it."

A few minutes later, the boy and his father came to the checkout counter. He only had a small ball in his hand and put it on the counter. Then, the cashier suddenly said with a big voice, "We have (5)great news for you! You are our 100th customer today. You win this toy robot as a prize. Here you are. What luck!" The boy began to smile and said, "I can't believe it. Wow! I wanted this toy so much!" The old woman and her husband were watching them. She looked at her husband and smiled. He said, "Well, (6)what should we buy for Nick?" She answered, "We don't have enough money with us now, but I am very glad we could make (7)someone happy today. Why don't we buy a present for Nick another time?" "OK," said her husband, and they went back home.

(注) Christmas 「クリスマス」 checkout counter 「レジカウンター」 cashier 「レジ係」

問1 下線部(1)の理由として、最も適当なものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア Because her husband told her to buy it.
- イ Because it was very expensive.
- ウ Because she knew many children liked it.
- エ Because she thought Ellen would like it.

問2 下線部(2)の内容について最も適当なものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア They will get the video game.
- イ They will live with Ellen and Nick.
- ウ They will play the video game.
- エ They will visit Ellen and Nick.

問3 下線部(3)の理由として、最も適当なものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア Because the boy couldn't find the toy robot.
- イ Because the boy had to give up the toy robot.
- ウ Because the toy robot was broken.
- エ Because the toy robot was not for sale.

問4 空所(4)に入る発言として、最も適当なものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア Here you are.
- イ I'm sorry, I can't help you.
- ウ That's a wonderful idea.
- エ You're welcome.

問5 下線部(5)の内容について最も適当なものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア The boy came to the shop 100 times, so he can get the small ball.
- イ The boy is the 100th customer today, so he can get a toy robot.
- ウ The shop gives a small ball to the 100th customer, so the boy can get it.
- エ The shop has 100 toy robots, so the boy can get a toy robot.

問6 下線部(6)に関して、次の質問に対する答えとして最も適当なものを下から選び、記号で答えなさい。 What did the old woman and her husband get for Nick?

- ア A toy robot. イ A video game. ウ Great news. エ Nothing.

問7 下線部(7)において、**someone** とはこの物語では具体的には誰のことか。最も適当なものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア a small boy イ an old woman's husband ウ Ellen エ Nick

問8 英文の内容について、以下の対話文の()内に入る表現として最も適当なものを下から選び、記号で答えなさい。

Teacher : How do you feel about this story?

Student A : I don't like it. I wanted the old woman to use her money for her family. How about you?

Student B : I can understand her feelings. The story tells us that ().

Teacher : I see. Thank you.

- ア boys should follow their parents' advice
- イ toy robots are better than video games for children
- ウ we can be happy when we make someone happy
- エ we should go to a toy shop to buy a Christmas present

問9 本文の内容と一致するものを下から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア Ellen and Nick lived together with the old woman.
- イ The small boy was shopping for a Christmas present for his father.
- ウ The old woman told the small boy's father to buy a new jacket and sneakers.
- エ The small boy's father didn't have enough money to buy the toy robot.
- オ The husband and his wife didn't use their money at the shop.
- カ The old woman won a toy robot as a prize.
- キ The toy robot was from the old woman, but the small boy didn't know that.

配点 : 20 点 (各 2 点)

正解 問1 ウ 問2 ア 問3 イ 問4 ウ 問5 イ
 問6 エ 問7 ア 問8 ウ 問9 エ, キ

<抽出答案における【7】小問別正答率（%）>

学科・人数 小問	全 体 2,795	普 通 科 2,357	総合学科 220	商業科系 47	家庭科系 79	英語科系 22	他の学科 70	
問 1	58.0	60.9	62.2	57.3	53.2	44.3	86.4	44.3
問 2		59.0	60.8	46.8	63.8	40.5	86.4	47.1
問 3		57.7	59.8	40.9	46.8	45.6	90.9	48.6
問 4		64.7	66.6	52.7	57.4	41.8	90.9	61.4
問 5		71.4	72.6	65.0	68.1	51.9	90.9	70.0
問 6		42.4	44.9	24.5	27.7	22.8	90.9	31.4
問 7		56.9	59.2	43.6	40.4	39.2	90.9	40.0
問 8		65.0	68.1	47.3	53.2	31.6	90.9	55.7
問 9		エ	56.1	58.8	41.4	38.3	32.9	90.9
	キ	45.5	48.5	27.7	31.9	16.5	81.8	28.6

調査校全体の正答率は 58.0%であった。

<分析答案による誤答数>

小問	誤答数	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	無答
問 1	41	14	14	正答	13				0
問 2	34	正答	9	13	12				0
問 3	47	7	正答	8	32				0
問 4	31	24	3	正答	4				0
問 5	23	4	正答	13	6				0
問 6	59	29	20	10	正答				0
問 7	44	正答	19	7	17				1
問 8	33	12	9	正答	9				3
問 9	87	4	31	9	正答	15	19	正答	9

<考察>

問 1 は、an old woman が孫のクリスマスプレゼントとして video game を選んだ理由を問う問題である。調査校全体の正答率は 60.9%であった。誤答は分散しており、直後の The video game was very popular among children から正解を導くことができなかつたようである。

問 2 は、an old man が賛成している内容を問う問題である。調査校全体の正答率は 59.0%であった。誤答は分散しており、直前の an old woman からの提案をよく理解できなかつたようである。

問 3 は、the boy が悲しそうにしていた理由を問う問題である。調査校全体の正答率は 57.7%であった。誤答 47 例のうち、エ Because the toy robot was not for sale. が 32 例あり、これは直前の父の “No. It’s too expensive. I don’t have enough money.” という発言と、少年の気持ちを結び付けて考えることができなかつたためであると思われる。

問 4 は、the old woman の提案に対して the cashier が答えた内容を問う問題である。調査校全体の正答率は 64.7%であった。誤答 31 例のうち、ア Here you are. が 24 例を占めた。話の展開を正確に理解できずに、この場面で the old woman に the toy robot が手渡されたと解釈したようである。

問 5 は、great news の内容を問う問題である。調査校全体の正答率は 71.4%と本問中最も高かつ

た。直後の the cashier の発言から、なぜ the boy が the toy robot をもらったのかを理解できたようである。

問6は、the old woman と the old man が孫の Nick に何を買ったかを問う問題である。調査校全体の正答率は 42.4%と本問中最も低かった。誤答 59 例のうち、ア A toy robot. が 29 例、イ A video game. が 20 例あり、これは後に続く “Why don't we buy a present for Nick another time?” “OK,” という二人のやり取りから、何も買わなかったことを正確に読み取ることができなかつたためと考えられる。

問7は、the old woman と the old man が誰を喜ばせたかを問う問題である。調査校全体の正答率は 56.9%であった。誤答 44 例のうち、イ an old woman's husband が 19 例、エ Nick が 17 例あり、これは文脈を正しく捉えることができなかつたためと考えられる。

問8は、この物語の大意を推測する問題である。調査校全体の正答率は 65.0%であった。誤答は分散しており、物語の核心部分を捉えることができなかつたようである。

問9は、本文の内容に一致するものを二つ選択する問題である。調査校全体の正答率は、エ が 56.1%、キ が 45.5%と低かった。誤答 87 例のうち、イ The small boy was shopping for a Christmas present for his father. が 31 例であった。これは選択肢内の for his father を読み取ることができず、本文中の He was looking for a Christmas toy with his father. と混同したためと考えられる。

<指導上の留意点>

<問題点>

問6や問9に見られるように、登場人物の行動や関係を正確に読み取ることができないため、物語の流れを整理して理解することができない。

<具体的な指導例>

(1) 英文を読ませた後で、説明すべき登場人物や key words を pick up する。

【登場人物例】 an old woman / an old woman's husband / a small boy / a boy's father / the cashier

【key words 例】 a toy shop / Christmas shopping / a video game / a toy robot / happy

(2) (1)で選んだ key words を黒板に図示しながら、生徒と英語でやり取りする。

【図示例】

a toy shop

an old woman / an old woman's husband ----- Nick

↓

• a video game?

↓

----- a small boy / a boy's father

↓

× enough money

↓

× a toy robot

the cashier

• 100th = a present →→→→ ○ a toy robot = happy

【質問例】

- At the toy shop, what did they first choose to buy?
- Why did the old woman choose the video game?
- What did the small boy want to get for his Christmas present?

- Did the small boy and his father have enough money?
- What idea did the old woman have?
- Did the small boy get the toy robot at last?
- How did the small boy feel?
- What did the old woman and her husband get for Nick?
- Did they feel happy?

(3) (2)で図示した情報を基に、生徒に物語の内容を英語で説明させる。(ペア→全体)

(4) 本文とは異なる key words を示し、それを用いて本文の内容を説明させる。(ペア→全体)

【key words 例】

suitable / can't afford / suggest / pleased

【内容説明例】

An old woman was looking for a present suitable for his grandchildren at a toy shop. She saw a small boy there, but he seemed he couldn't afford the toy robot he wanted. So she suggested to her husband and a cashier that she would buy the toy robot for him, but that they would never tell him about that. Her plan made the boy very pleased.

(8) 聞き取り問題

出題のねらい：英語の聞き取りによる理解度を測る。

[第1問]

第1問は、1番から3番までの三つあります。それぞれについて、最初に会話文が読まれ、続いて、会話についての問いと、問いに対する答え、(a), (b), (c), (d)が読まれます。そのあと、もう一度、その会話文、問い、問いに対する答えが読まれます。正しいものには○、そうでないものには×をつけなさい。正しい答えは、それぞれ一つしかありません。それでは、始めます。

(1)

A: Excuse me. Which bus goes to Nagoya Station?

B: Take Bus No. 30.

A: How long does it take?

Question : What will the man say next?

(a) It comes here every 5 minutes.

(b) It is 30 kilometers.

(c) It takes about 15 minutes.

(d) The bus is 10 meters long.

(2)

A: Paul, help yourself.

B: Mika, this meat loaf is delicious. You cook very well.

A: Thanks. Would you like another piece?

Question : What will the man say next?

(a) I'm sorry, I can't eat fish.

(b) No, I'm not.

(c) That's true.

(d) Yes, please.

(3)

A: Have you been to Kyoto?

B: No, I haven't. But I want to visit it someday.

A: I'm going there with my family next week. Would you like to come with me?

Question : What will the man say next?

(a) I'd love to.

(b) I hope you can.

(c) I'm glad you like it.

(d) I think so, too.

[第2問]

第2問は、最初に店員と客との会話文が読まれます。続いて、会話についての問いと、問いに対する答え、(a)、(b)、(c)、(d)が読まれます。問いは二つあります。そのあと、もう一度、会話文、問い、問いに対する答えが読まれます。正しいものには○、そうでないものには×をつけなさい。正しい答えは、それぞれ一つしかありません。それでは、始めます。

Clerk : Hello. May I help you?

Customer: Yes, please. I want some flowers. Today is my daughter's birthday.

Clerk : What color are you looking for?

Customer: Something bright.

Clerk : How about this red one? Each one is five dollars.

Customer: Hmm...do you have anything cheaper?

Clerk : Well, this orange one is two dollars and this yellow one is three dollars.

Customer: I'll take this orange one.

Clerk : How many flowers do you need?

Customer: She is fifteen years old, so fifteen flowers!

Question 1 : Who is the man going to give flowers to?

(a) his daughter (b) his friend (c) his mother (d) his wife

Question 2 : How much are the flowers in total?

(a) 15 dollars (b) 30 dollars (c) 45 dollars (d) 75 dollars

配点 15点 (各3点)

正答 第1問 1 a (×) b (×) c (○) d (×) 2 a (×) b (×) c (×) d (○)
 3 a (○) b (×) c (×) d (×)
 第2問 1 a (○) b (×) c (×) d (×) 2 a (×) b (○) c (×) d (×)

<抽出答案における【8】小問別正答率(%)>

学科・人数	全体	普通科	総合学科	商業科系	家庭科系	英語科系	他の学科
小問	2,795	2,357	220	47	79	22	70
第1問 Question 1	77.7	83.0	84.9	70.5	91.5	70.9	58.6
Question 2		87.5	88.5	80.9	89.4	77.2	80.0
Question 3		68.1	70.3	57.3	59.6	41.8	55.7
第2問 Question 1	77.7	84.3	85.6	75.9	87.2	70.9	74.3
Question 2		65.8	68.9	47.7	59.6	34.2	54.3

昨年度までと同様に、本年度は、20語程度の短い会話文を聞き、それに対する Question (1問) に答える形式の3題と、100語程度のまとまった会話文を聞き、それに対する Questions (2問) に答える形式の1題を出題した。

第1問は、二人の会話に次いでどのように続くかを推測させるものである。第2問は、客が花を購入する場面における店員との会話である。第1問、第2問ともに、問題を、「会話文→質問→解答選択肢」の順で2度繰り返して提示した。読みの速さは、例年同様、話し言葉の自然な速さとし、解答は、全ての選択肢に○または×を付けさせる形式とした。本問の調査校全体の正答率は77.7%であった。

<分析答案による誤答数>

小問	誤答数	(a)	(b)	(c)	(d)	無答
第1問	Question 1	7	5	1	正答	1
	Question 2	4	2	1	1	正答
	Question 3	19	正答	9	7	3
第2問	Question 1	8	正答	4	1	3
	Question 2	38	21	正答	13	4

<考察>

第1問 Question 1 は、男性が「どのくらい時間がかかるか」という質問にどう答えるかを問うものである。調査校全体の正答率は83.0%と高かった。必要とする時間を説明する表現は容易に判断できたようである。

Question 2 は、男性が「もう一つミートローフを食べないか」という誘いにどう答えるかを問うものである。調査校全体の正答率は87.5%と本問中最も高かった。会話の流れに応じて、提案を受け入れる表現を選択できたようである。

Question 3 は、男性が「一緒に京都に行かないか」という誘いにどう答えるかを問うものである。調査校全体の正答率は68.1%であった。(a) I'd love to. という表現は NEW HORIZON 3 Daily Scene 3 で紹介されているが、Would you like...? という表現に対する応答として、十分に定着していないようである。

第2問 Question 1 は、「客が花を誰に贈るつもりなのか」を問うものである。調査校全体の正答率は84.3%と高かった。客の発言にある Today is my daughter's birthday. から、誰に花を贈るのかは容易に判断できたようである。

Question 2 は、「花の代金は合計でいくらか」を問うものである。調査校全体の正答率は65.8%と本問中最も低かった。これは、3色の花それぞれの値段と客が注文した本数から、その合計額を正しく導き出せなかったためと考えられる。

<指導上の留意点>

<問題点>

長めの会話を聞き、聞き取った情報から、会話の状況を整理できない。

<具体的な指導例>

- (1) 会話文を聞かせ、音読を1回、シャドーイングを1回行わせる。
- (2) 聞き取った内容を以下の表を使ってまとめ、ペアで確認させる。
- (3) 作成した表を参考に、質問に答えさせる。

※ 会話文の例：本問 第2問参照

※ 表の例

	price	red	yellow	orange
		(5) dollars	(3) dollars	(2) dollars
How many flowers?		(0)	(5)	(10)
How much in each color?		(0) dollars	(15) dollars	(20) dollars
How much in total?		(35) dollars		

※質問と選択肢の例

How much are the flowers in total?

- a) 15 dollars. b) 35 dollars. c) 45 dollars. d) 75 dollars.